

研究指導の概要

■ 看護科学学位プログラム

【課程：博士前期課程】

学年	学期 モジュール		研究内容及び指導方法等
1 年 次	春	A	看護科学論（春AB） ：看護に関する諸理論と看護現象との関係について考察させ、看護に関する普遍的な法則性の追究、看護の経験的あるいは実証的な合理性の明確化などを通して看護を科学的に探求する力を養う。
		B	専門分野の特論（春AB） ：学生の専門分野に応じて国際保健・地域看護学、臨床実践看護学、ウィメンズヘルス看護学の3分野に分かれ、各分野の文献検討を通じて最新の研究動向を理解し、研究課題を洗練する力を養う。
		C	看護学研究法（春BC） ：看護研究における科学的研究プロセス、研究倫理、研究方法論を学際的に教授する。
	秋	A	専門分野の演習Ⅰ（秋ABC） ：学生の専門分野に応じて国際保健・地域看護学、臨床実践看護学、ウィメンズヘルス看護学の3分野に分かれ、研究室単位でのゼミや個別指導、分野内での発表会を行うことで、文献検討を通じた各専門分野における研究や高度実践上の課題、研究方法や実践方法、研究結果や実践成果の評価方法について学生に理解させ、学生自身の研究課題に則した研究計画書の作成に向けた指導を行う。
		B	
		C	
2 年 次	春	A	研究計画発表会（4月第4木曜） ：学生が自身の研究計画を個別に口頭で発表し、研究室外から選出された教員1名が評価委員として適切に研究を遂行できる様に建設的な示唆を与える。
		B	研究計画の倫理承認（適宜） ：人を対象にした看護研究を行う場合には、研究を実施する前に、研究計画について学内の研究倫理委員会による審査を必ず受け、承認が得られてから研究を実施する。
		C	専門分野の演習Ⅱ（通年） ：学生の専門分野に応じて国際保健・地域看護学、臨床実践看護学、ウィメンズヘルス看護学の3分野に分かれ、研究室単位でのゼミや個別指導、および分野内での合同発表会を行うことで学生の研究の進捗を確認して論文作成に向けた課題を明確にし、それを解決する能力を修得させることで、学生が研究計画に沿って適切に研究を遂行し、修士論文を作成できるように指導を行う。
	秋	A	研究の実施と指導 ：研究室の指導教員等はゼミや個別指導を通して学生の研究の進捗を適宜確認し、必要に応じて指導助言を行う。
		B	
		C	